



DHS - 112
操作説明書

適用機種
DHS - 112

株式会社 ディジ・テック

改訂履歴表

改訂年月日	項目	改訂内容
2011/ 8/10		[第1版]
2013/ 7/10		[第2版] ・本社移転により記載住所変更

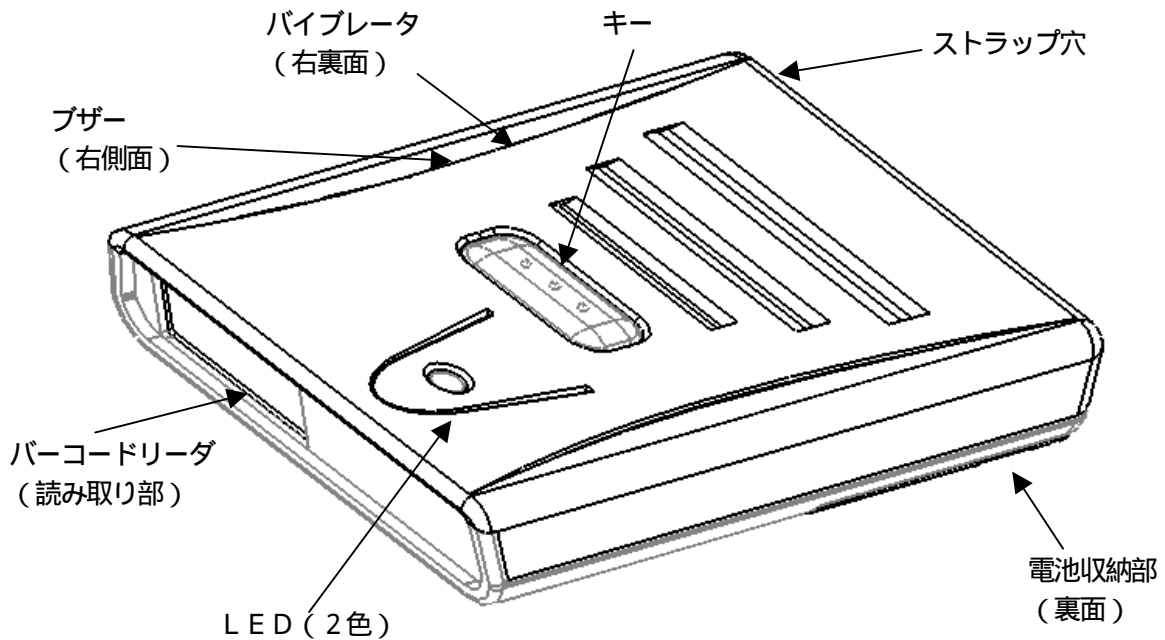
目次

1. 概要	1
2. 各部の名称	1
3. 操作方法	1
3-1. アドレスバーコードを読み取って『マスタ接続』	2
3-2. アドレスバーコード(1桁)を読み取って『マスタ接続』	3
3-3. ペアリングバーコードを読み取って、ペアリング要求のあった機器へ『マスタ接続』	4
3-4. 登録しているアドレスへ『マスタ接続』	5
3-5. 『スレーブ接続』	6
3-6. 『デモ動作』	7
4. 設定一覧	9
5. 設定方法	11
5-1. バーコードを読み取って設定	11
5-2. 設定ツールで設定	12
5-3. アプリケーションからの一括設定	13
6. 設定内容	14
7. 状態早見表	20
8. 付録	21
8-1. ペアリングバーコード	21
8-2. アドレスバーコード	21
8-3. アドレスバーコード(1桁入力用)	22
8-4. 設定データ	23
8-5. 設定バーコード	25
8-6. ホスト制御	29
9. 困ったときには	30

1. 概要

DHS-112 は Bluetooth 通信でバーコードデータをリアルタイム送信します。
通信は、Serial Port Profile(SPP)の Bluetooth COM ポートで行います。
データをパソコンや P D A などにキー入力するには、別途ソフトウェアを準備する必要があります。

2. 各部の名称



DHS-112 Bluetooth®ハンディスキャナ (バーコードリーダー搭載モデル)

3. 操作方法

キーを押すと、Bluetooth 接続を行います。
接続が成功すると、キーを押す毎にバーコードを読み取ってバーコードデータの送信を行います。

Bluetooth 接続は、以下の操作より選択できます。

- ・アドレスバーコードを読み取って、『マスタ接続』
- ・アドレスバーコード (1桁) を読み取って、『マスタ接続』
- ・ペアリングバーコードを読み取って、ペアリング要求のあった機器へ『マスタ接続』
- ・登録しているアドレスへ『マスタ接続』
(工場出荷状態より、設定を変える必要があります。)
- ・『スレーブ接続』
(工場出荷状態より、設定を変える必要があります。)

各動作の説明をします。

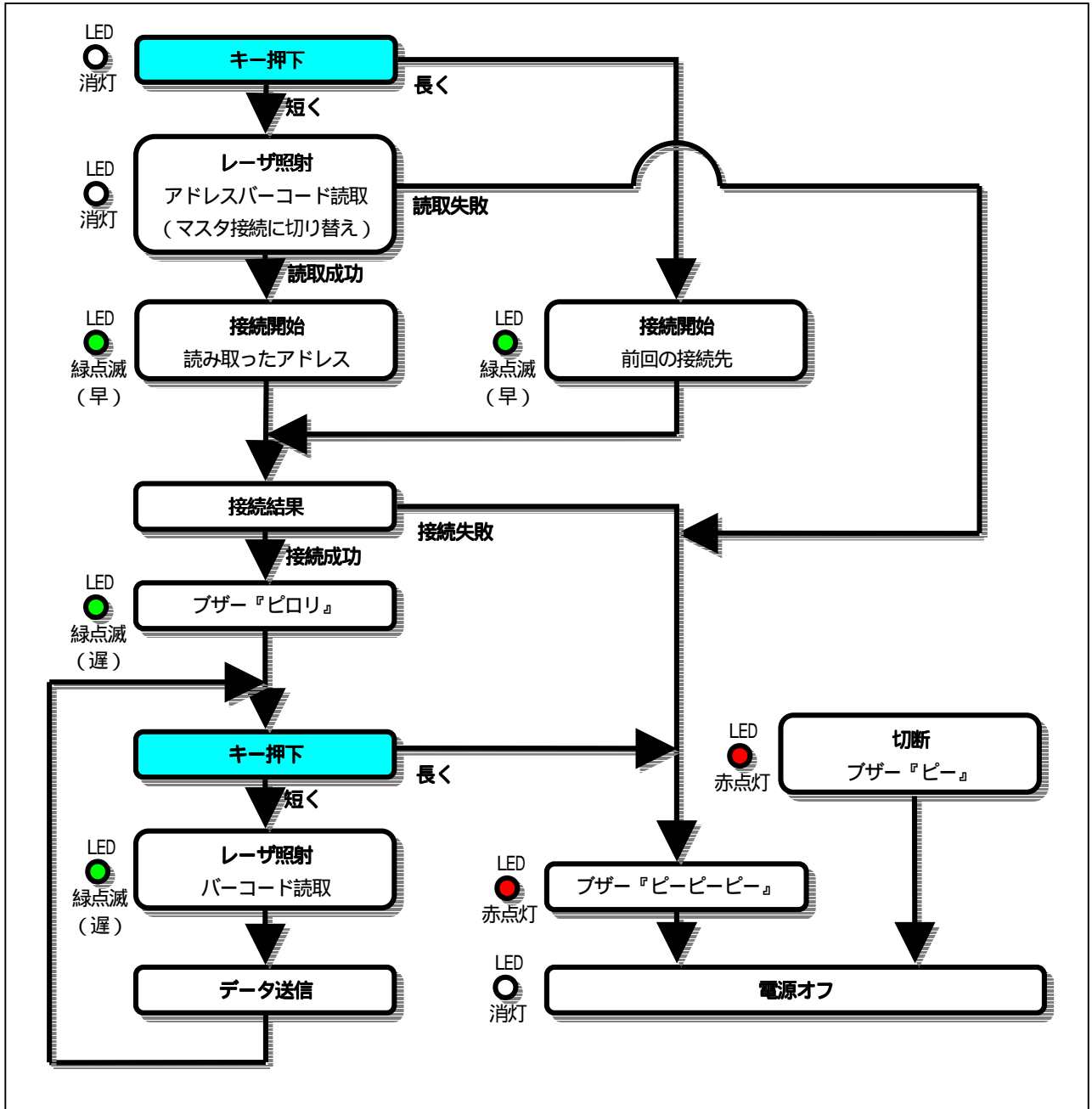
3-1. アドレスバーコードを読み取って『マスタ接続』

キーを短く押し、アドレスバーコードを読ませます。すると、そのアドレスへ接続を開始し、ブザーが『ピロリ』と鳴ると接続が完了します。

一度読み取ったアドレスは登録され、電源オフしても消えません。

接続完了後は、キーを押す毎にバーコードを読み取り、バーコードデータを送信します。

動作の流れを以下に記します。



この動作の基本設定： 【通信】 - 【モード】 - 【マスタ】

【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】

アドレスバーコードについては、[8-2. アドレスバーコード](#)を参照してください。

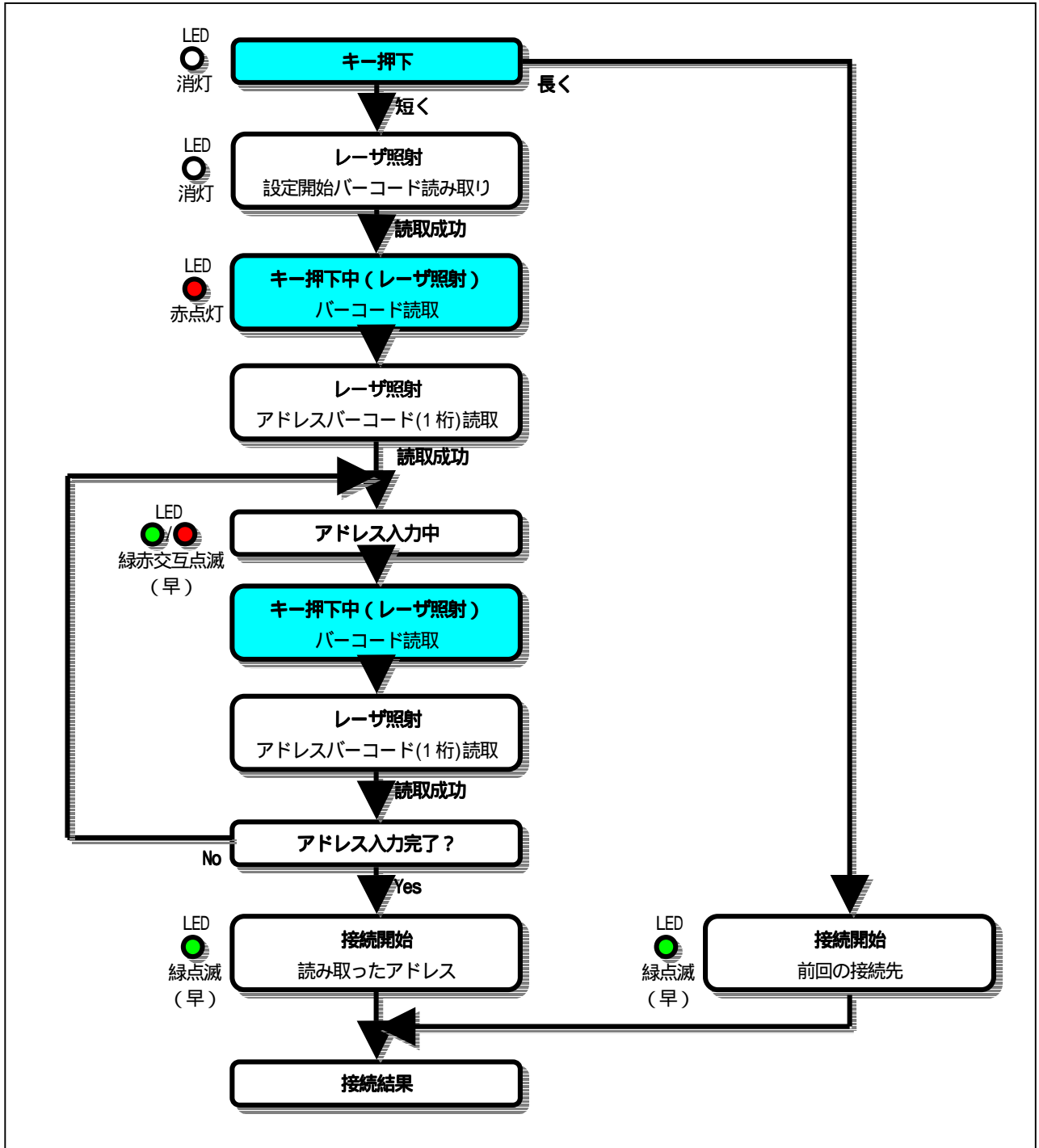
3-2. アドレスバーコード(1桁)を読み取って『マスタ接続』

キーを短く押し、設定開始バーコードを読ませます。アドレスバーコード(1桁)を12回読み取ると、そのアドレスへ接続を開始し、ブザーが『ピロリ』と鳴ると接続が完了します。

一度読み取ったアドレスは登録され、電源オフしても消えません。

接続完了後は、キーを押す毎にバーコードを読み取り、バーコードデータを送信します。

アドレスを入力する部分の流れを以下に記します。接続以降は、前項と同じになります。



この動作の基本設定： 【通信】 - 【モード】 - 【マスタ】

【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】

アドレスバーコード(1桁)については、[8-3. アドレスバーコード\(1桁入力用\)](#)を参照してください。

3-3. ペアリングバーコードを読み取って、ペアリング要求のあった機器へ『マスタ接続』

キーを短く押し、ペアリングバーコードを読み取ると、ペアリング待ちになります。

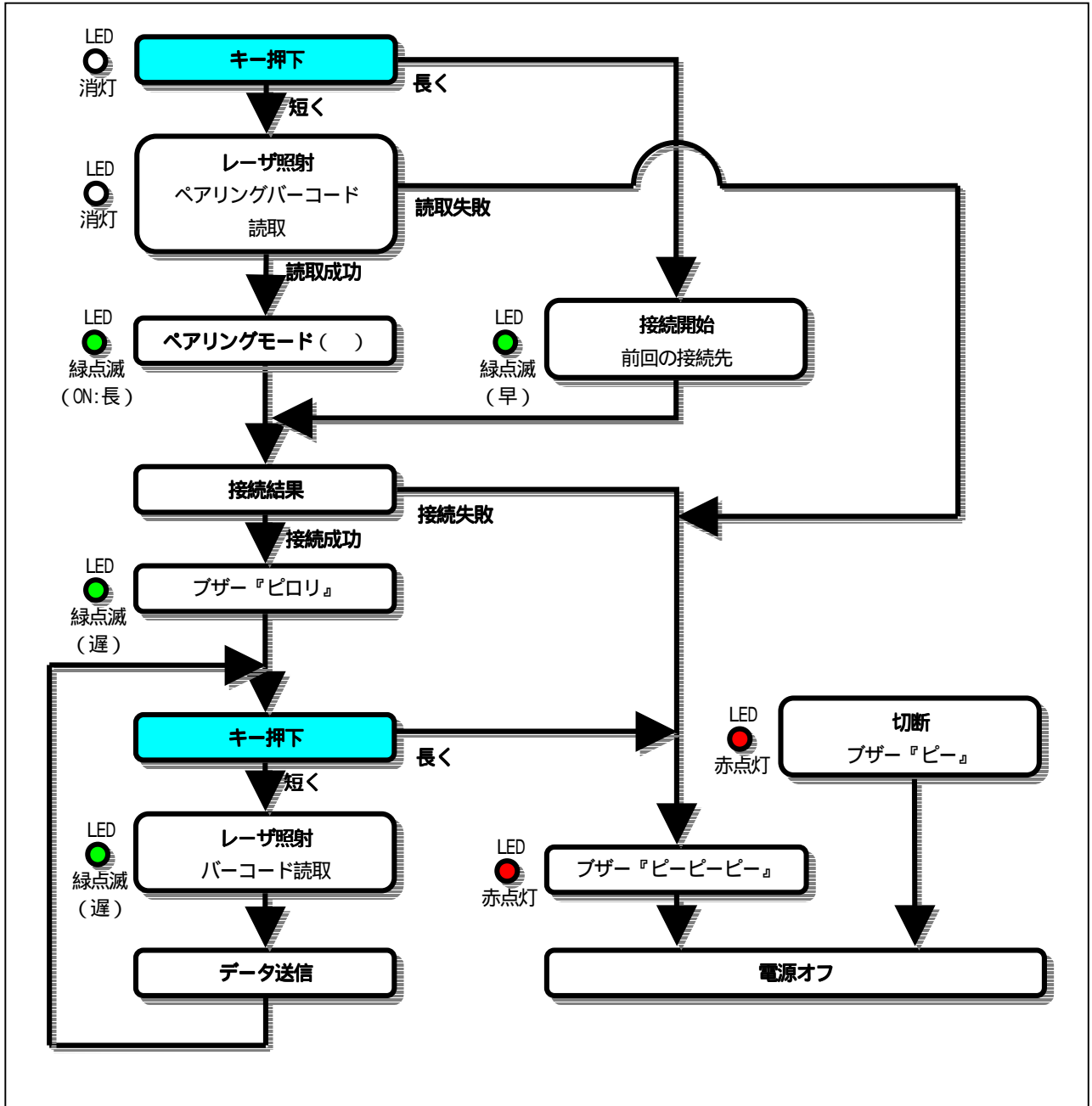
この状態で接続したい機器からペアリングを行います。

ペアリングが完了すると、DHS-112 より接続を開始し、ブザーが『ピロリ』と鳴ると接続が完了します。

一度ペアリングした機器は登録され、電源オフしても消えません。

接続完了後は、キーを押す毎にバーコードを読み取り、バーコードデータを送信します。

動作の流れを以下に記します。



この動作の基本設定： 【通信】 - 【モード】 - 【マスタ】

【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】

ペアリングバーコードについては、[8-1. ペアリングバーコード](#)を参照してください。

ペアリングモードについては、[3-6. 『デモ動作』の 印の項目](#)を参照してください。

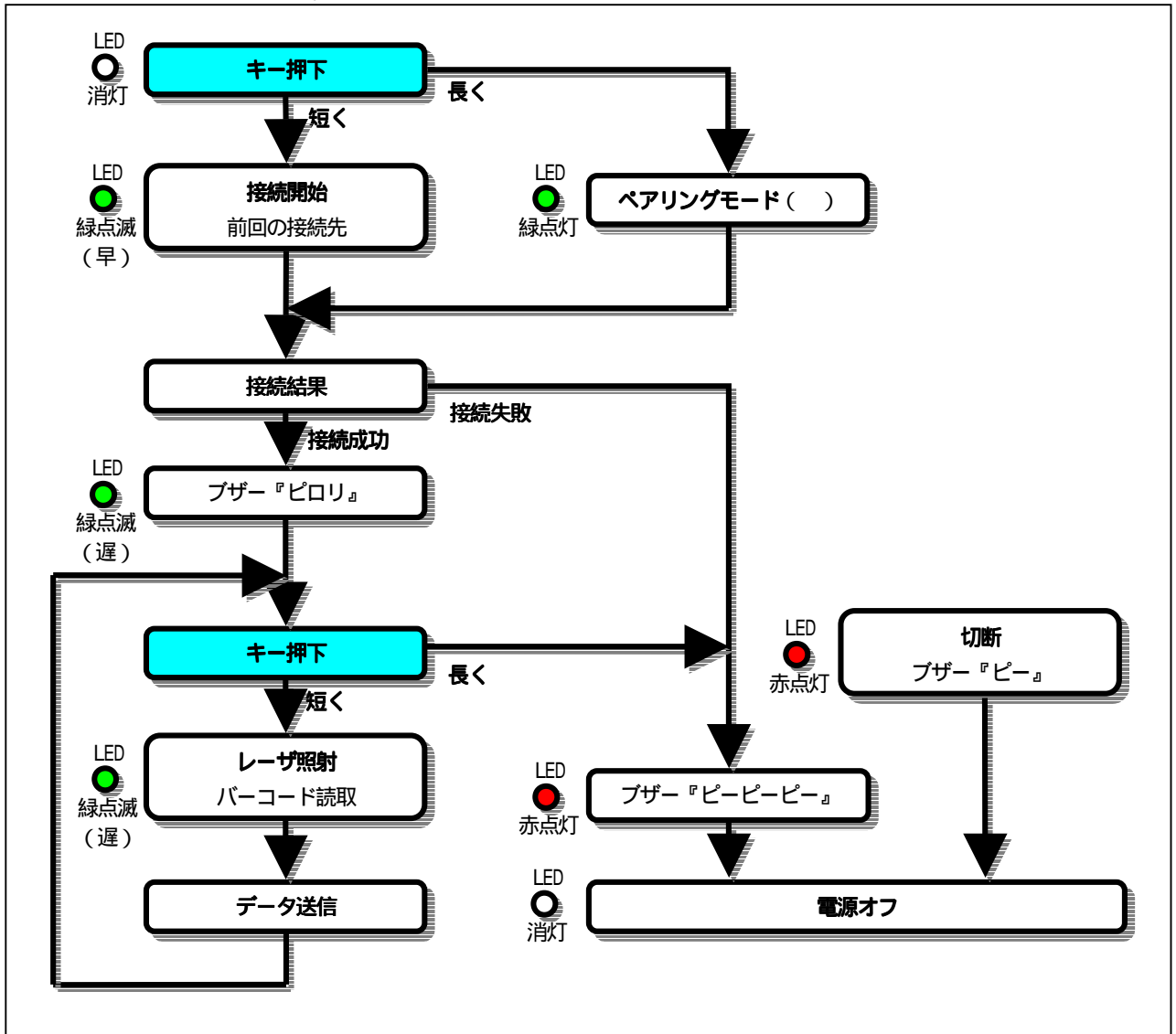
3-4. 登録しているアドレスへ『マスタ接続』

この方法は、工場出荷状態より、設定を変える必要があります。

キーを短く押すと、前回の接続先へ接続を開始し、ブザーが『ピロリ』と鳴ると接続が完了します。

接続完了後は、キーを押す毎にバーコードを読み取り、バーコードデータを送信します。

動作の流れを以下に記します。



この動作の基本設定： 【通信】 - 【モード】 - 【マスタ】

【キー操作】 - 【起動時】 - 【Bluetooth 接続】

ペアリングモードについては、[3-6.『デモ動作』の 印の項目](#)を参照してください。

3-5. 『スレーブ接続』

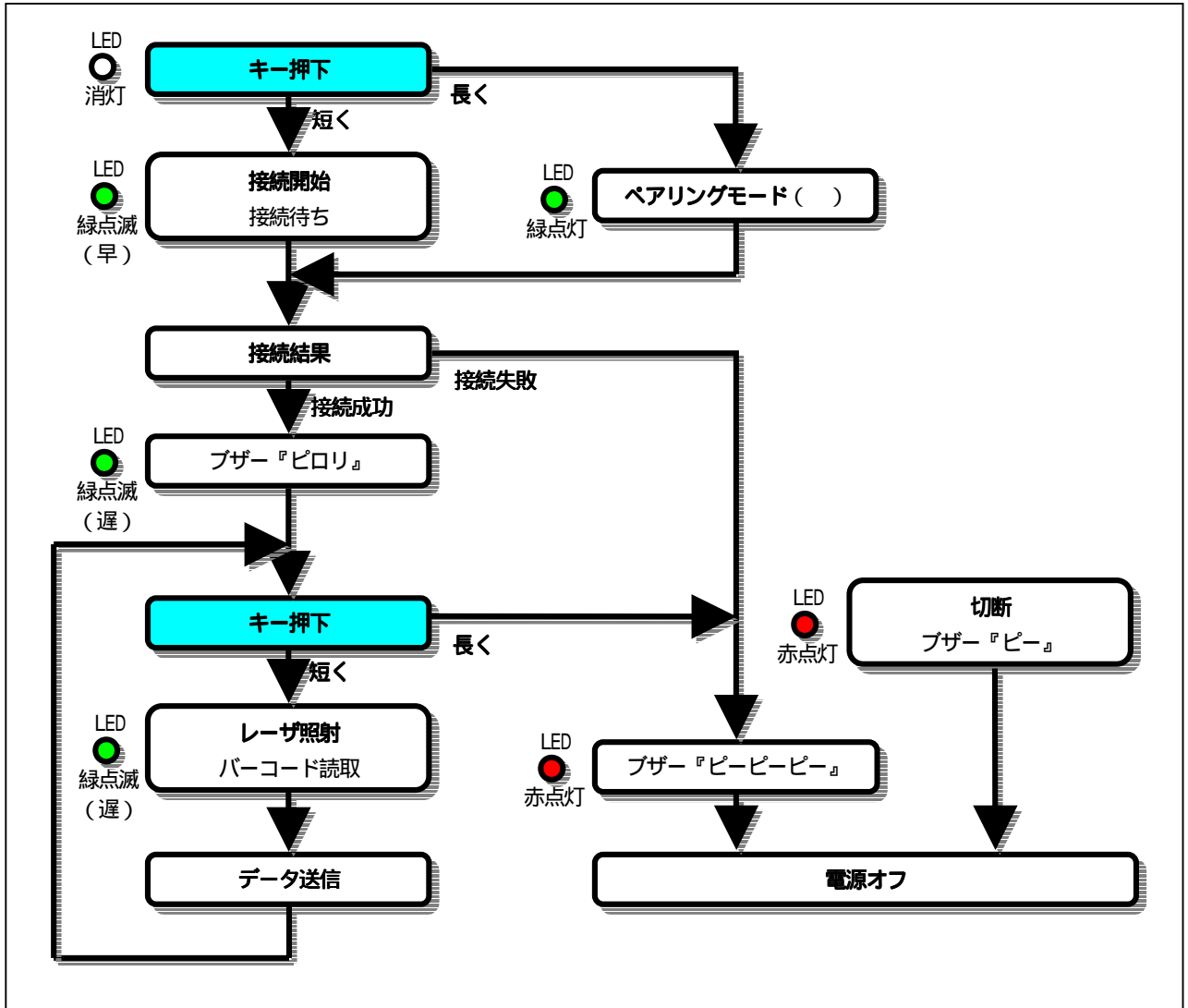
この方法は、工場出荷状態より、設定を変える必要があります。

キーを短く押すと、接続待ちになります。接続したい機器から接続を開始してください。

ブザーが『ピロリ』と鳴ると接続が完了です。

接続完了後は、キーを押す毎にバーコードを読み取り、バーコードデータを送信します。

動作の流れを以下に記します。



この動作の基本設定： 【通信】 - 【モード】 - 【スレーブ】

ペアリングモードについては、[3-6.『デモ動作』の 印の項目](#)を参照してください。

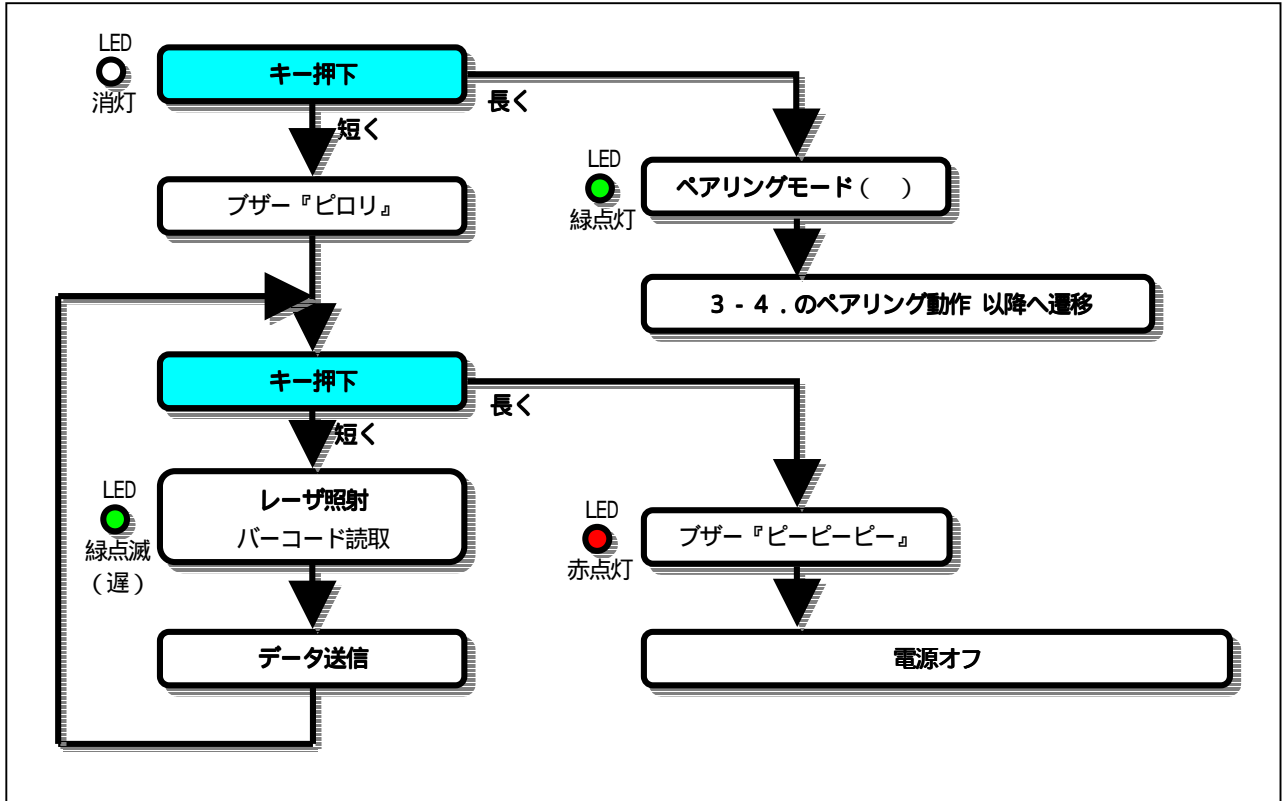
3-6. 『デモ動作』

この方法は、工場出荷状態より、設定を変える必要があります。

キーを短く押すと、読み取り動作になります。

キーを押す毎にバーコードを読み取ります。接続を行わないデモ動作ですのでデータの送信は行いません。

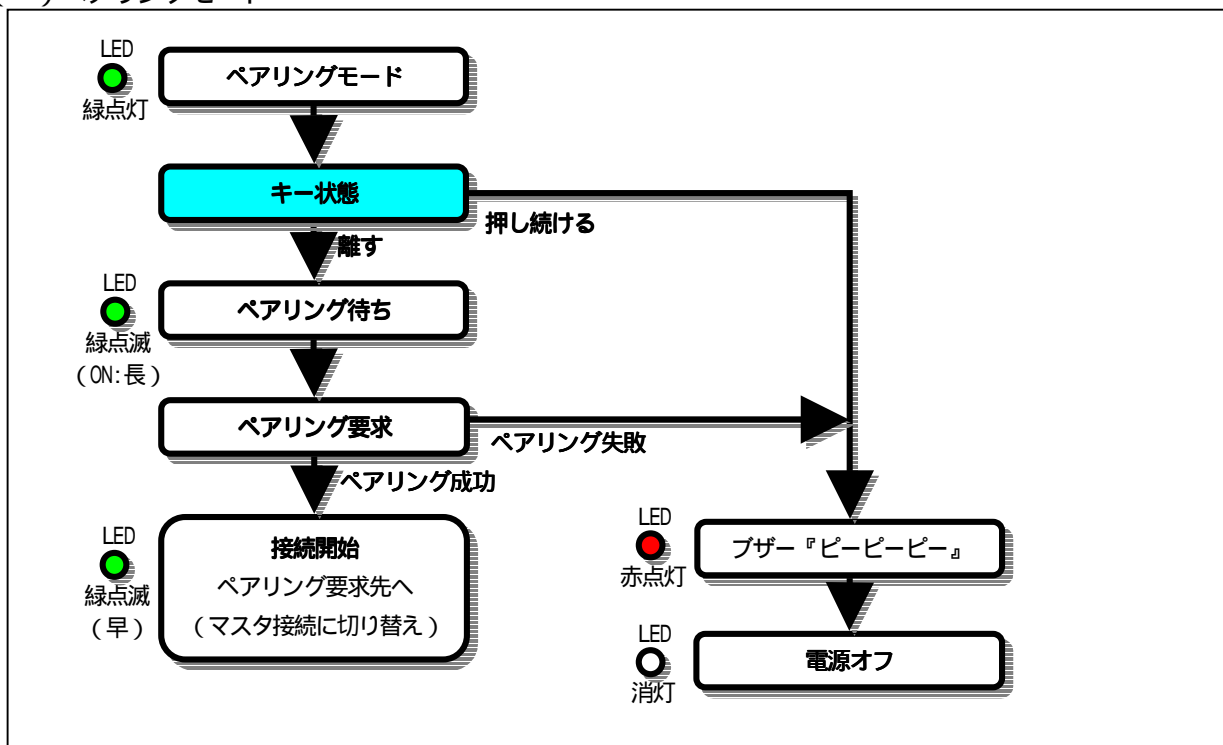
動作の流れを以下に記します。



この動作の基本設定： 【通信】 - 【モード】 - 【接続しない】
【キー操作】 - 【起動時】 - 【Bluetooth 接続】

デモ動作をやめて接続を行う動作に変更する場合は、一度ペアリングモードにして、接続したい機器よりペアリングを行ってください。

() ペアリングモード



デバイス名は、『DHS-100 xxxxxx』となります。xxxxxx は、機器 ID です。
一度ペアリングした機器は登録され、電源オフしても消えません。

4. 設定一覧

DHS-112 は、設定することにより、バーコードデータを装飾したり、機器 ID を付加できます。電源オフしても、設定は記憶しています。

設定一覧 (: 工場出荷設定)

読み取りバーコード

JAN/EAN/UPCE

- 読み取る
- 読み取らない

ITF

- ITF として読む
- ITF-6, 14, 16 として読む
- 読み取らない

NW7

- スタートストップ 付
- スタートストップ 無
- スタートストップ 付, C D
- スタートストップ 無, C D
- 読み取らない

Code39

- スタートストップ 付
- スタートストップ 無
- スタートストップ 付, C D
- スタートストップ 無, C D
- 読み取らない

Code128

- 読み取る
- 読み取らない

Industrial-2of5

- 読み取る
- 読み取らない

GS1-128(旧称 UCC/EAN-128)

- 読み取る
- 読み取らない

新雑誌コード

- 読み取る
- 読み取らない

通信

モード

- マスタ
- スレーブ
- 接続しない

方式

- A (通常)
- B

セキュリティ

- 無し
- 有り

応答 (方式が A のみ設定有効)

- 無し
- ACK

ホスト制御 (方式が A のみ設定有効)

- 無し
- 有り

デバイス

2度読み防止

- 無し
- 有り

レーザー照射角

- 広い
- 狭い

ブザー音

- 有り
- 無し

バイブレータ

- 有り
- 無し

データ

先頭付加(バーコード)

- 無し
- Symbol 準拠
- AIM 準拠

終端付加

- 無し
- CR
- LF
- TAB
- ETX(STX)

電源管理

自動オフ

- なし
- 1~99分(5分)

データ項目

区切り設定

- CR
- LF
- TAB
- カンマ

機器 ID 付加

- しない
- する

キー操作

起動時

- バーコード読み取り
- Bluetooth 接続

5. 設定方法

設定は、以下の何れかの方法にて行います。

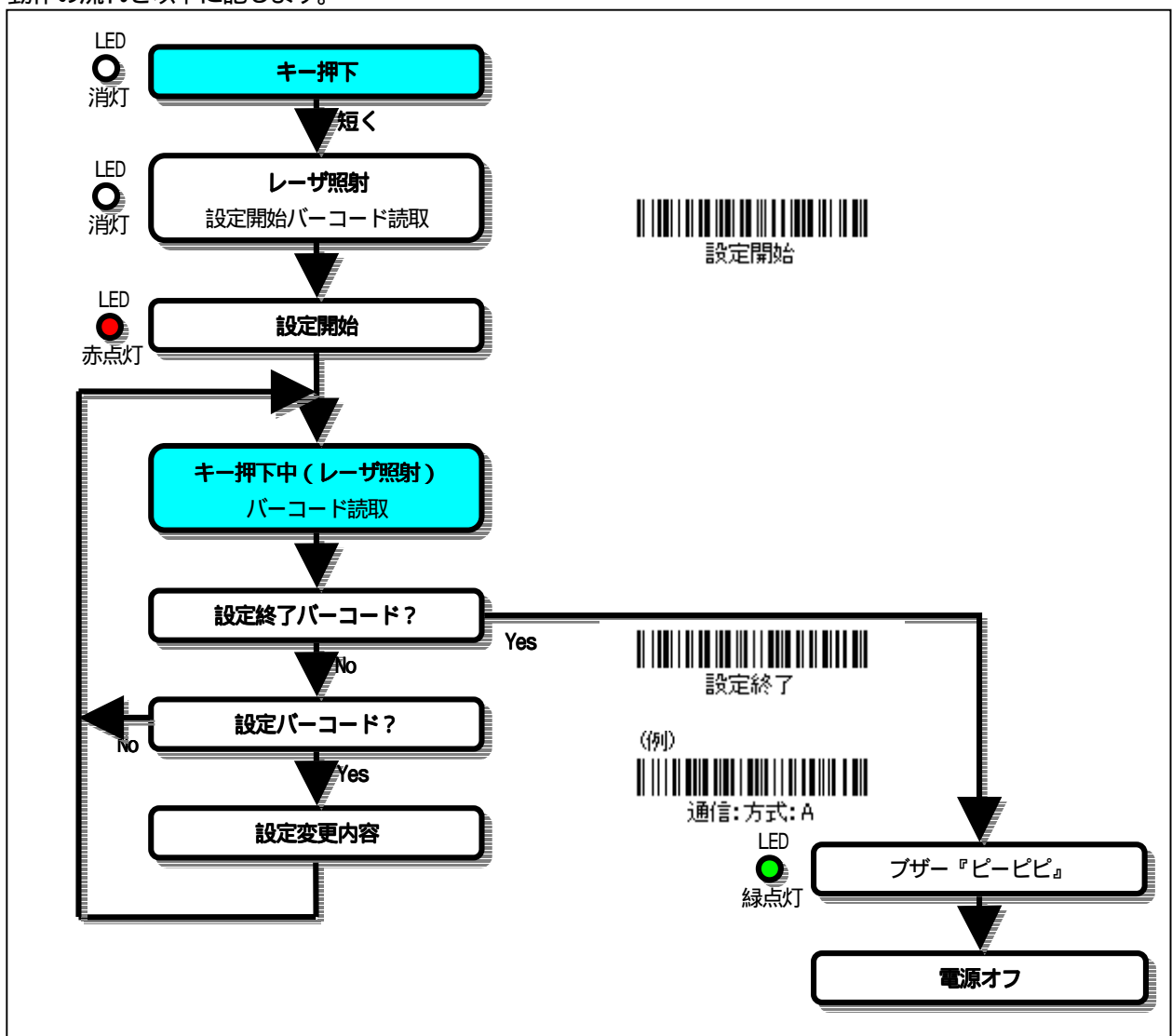
- ・バーコードを読み取って設定
(工場出荷状態、または【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】を設定時)
- ・設定ツールで設定 (パソコンを使用)
- ・アプリケーションからの一括設定

5-1. バーコードを読み取って設定

工場出荷状態、または【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】の設定時にこの方法で設定できます。キーを短く押し、設定開始バーコードを読み取ると、設定可能な状態になります。

この状態で各設定バーコードを読ませると、即設定を行います。

設定を終了するには、設定終了バーコードを読ませます。すると、ブザーが『ピーピピ』と鳴り電源オフします。動作の流れを以下に記します。

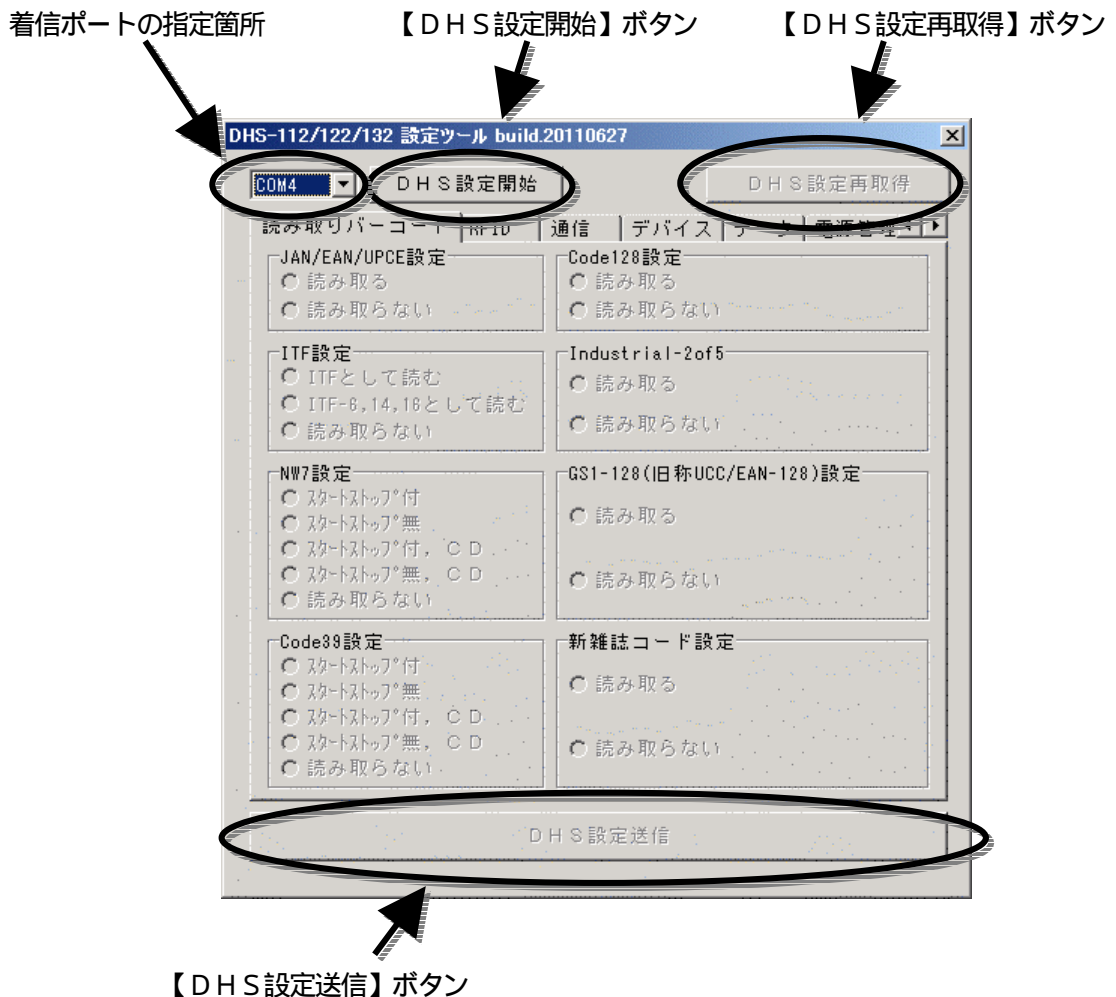


設定バーコードは、[8 - 5 . 設定バーコード](#)を参照。

5-2. 設定ツールで設定

1. パソコンに Bluetooth 着信ポートを作成します。
(作成は、ご使用のアダプタの取扱説明書等を参照して行ってください。)
2. 設定ツールの通信ポートを先ほど作成した着信ポートに指定します。
3. DHS-112 とパソコンを Bluetooth 接続します。
4. 【DHS設定開始】ボタンを押すと現在の設定を読み込み、DHS-112 を設定できる状態にします。
5. 各設定を行います。
途中で接続前の DHS-112 の設定を再取得したくなったら、【DHS設定再取得】ボタンを押してください。
6. 設定が終了したら、最後に【DHS設定送信】ボタンを押します。
DHS-112 は、設定を受信成功するとブザーが『ピロ』となります。
ブザーが『ピー』と鳴り電源オフします。
もし、ブザーが『ピー』と鳴らなければ、キーを長押しし、電源オフしてください。

以上で設定完了です。



設定ツールは、改良のため予告なく変更する場合があります。

5-3. アプリケーションからの一括設定

1. DHS-112 と機器を Bluetooth 接続します。
2. 以下の手順で通信を行います。一括設定は、接続直後のみしかできません。

機器	方向	DHS-112
02h, "_SETTING", 03h ¹	➡	
	←	05h
00h	➡	
	←	06h
設定データ ² (64byte)	➡	
	←	設定完了 : 06h 設定失敗 : 15h 送信後、約 1 秒後に ブザーが『ピーピーピー』となり 電源オフ

1 データ詳細

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
02h	'_' (5Fh)	'S' (53h)	'E' (45h)	'T' (54h)	'T' (54h)	'I' (49h)	'N' (4Eh)	'G' (47h)	03h

- 2 設定データの詳細は [8 - 4 . 設定データ](#) を参照。

6. 設定内容

設定内容の詳細を説明します。

(印 : 工場出荷設定)

読み取りバーコード

読み取るバーコードの設定を行います。

JAN と新雑誌コードを同時読取指定した場合は、新雑誌コードが優先されます。

Code128 と GS1-128(旧称 UCC/EAN-128)を同時読取指定にした場合は、GS1-128 が優先されます。

JAN/EAN/UPCE

読み取る

JAN/EAN/UPC-A/UPC-E の読み取りをします。

読み取らない

JAN/EAN/UPC-A/UPC-E の読み取りをしません。

ITF

ITF として読む

Interleaved-2of5 として読み取ります。

ITF-6,14,16 として読む

ITF-6,14,16 として読み取ります。

この時チェックディジットのチェックを行い、エラーであれば読み取りません。

読み取らない

ITF の読み取りをしません。

NW7

スタートストップ 付

NW7 の読み取りをし、スタートストップキャラクタを取り除かずに、そのまま送信します。

スタートストップ 無

NW7 の読み取りをし、スタートストップキャラクタを取り除いて送信します。

スタートストップ 付, CD

NW7 の読み取りをし、スタートストップキャラクタを取り除かずに、そのまま送信します。

この時チェックディジットのチェックを行い、エラーであれば読み取りません。

(モジュラス 16 でチェック)

スタートストップ 無, CD

NW7 の読み取りをし、スタートストップキャラクタを取り除いて送信します。

この時チェックディジットのチェックを行い、エラーであれば読み取りません。

(モジュラス 16 でチェック)

読み取らない

NW7 の読み取りをしません。

Code39

スタートストップ 付

Code39 の読み取りをし、スタートストップキャラクタを取り除かずに、そのまま送信します。

スタートストップ 無

Code39 の読み取りをし、スタートストップキャラクタを取り除いて送信します。

スタートストップ 付, C D

Code39 の読み取りをし、スタートストップキャラクタを取り除かずに、そのまま送信します。

この時チェックディジットのチェックを行い、エラーであれば読み取りません。

(モジュラス 43 でチェック)

スタートストップ 無, C D

Code39 の読み取りをし、スタートストップキャラクタを取り除いて送信します。

この時チェックディジットのチェックを行い、エラーであれば読み取りません。

(モジュラス 43 でチェック)

読み取らない

Code39 の読み取りをしません。

Code128

読み取る

Code128 の読み取りをします。

読み取らない

Code128 の読み取りをしません。

Industrial-2of5

読み取る

Industrial-2of5 の読み取りをします。

読み取らない

Industrial-2of5 の読み取りをしません。

GS1-128(旧称 UCC/EAN-128)

読み取る

GS1-128 の読み取りをします。

読み取らない

GS1-128 の読み取りをしません。

新雑誌コード

読み取る

新雑誌コードの読み取りをします。

読み取らない

新雑誌コードの読み取りをしません。

通信

モード

マスタ

DHS-112 から接続を行うマスタの設定にします。

『アドレスバーコード読み取って、そのアドレスにマスタ接続』する場合は、

【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】に設定してください。

『登録しているアドレスへマスタ接続』する場合は、

【キー操作】 - 【起動時】 - 【Bluetooth 接続】に設定してください。

スレーブ

DHS-112 は接続を待ち受けるスレーブの設定にします。

接続しない

Bluetooth 接続を行わない動作になります。

デモ用途で使用する場合は、【キー操作】 - 【起動時】 - 【Bluetooth 接続】も併せて設定してください。

【キー操作】 - 【起動時】項も併せて参照してください。

方式

A (通常)

Bluetooth プロファイルの SPP の機器と接続する場合に設定します。

B

一部の機器と接続を行う場合に指定します。

セキュリティ

無し

セキュリティ無しで接続します。

有り

セキュリティ有りで接続します。

DHS-112 の PIN コードは『3939』です。

応答 (方式が通常のみ)

無し

読み取ったバーコードデータを相手機器に送信する場合、相手機器の受け取り応答は無いものとして送信のみ行います。

ACK

読み取ったバーコードデータを相手機器に送信後、相手機器の受け取り応答を待ちます。

受け取り応答は正常時 ACK(06h)、異常時 NAK(15h)とし NAK(15h)受信時は3回まで再送します。

3回目の再送で NAK(15h)を受け取るとエラーとします。

3秒以上応答が無い場合にはエラーとします。

ホスト制御 (方式が通常のみ)

無し

ホスト制御を受け付けません。

有り

ホスト制御を受け付けます ([8 - 6 . ホスト制御](#)を参照)。

デバイス

2度読み防止

無し

同じバーコードの2度読みを制限しません。

有り

同じバーコードの読みを5秒間受け付け無いことで2度読みを防止します。

レーザー照射角

広い

バーコードのレーザー照射角を47°に設定します。

狭い

バーコードのレーザー照射角を35°に設定します。

ブザー音

有り

バーコード読み取り時、ブザーで知らせます。

無し

バーコード読み取り時、ブザーで知らせません。

バイブレータ

有り

バーコード読み取り時、バイブレータで知らせます。

無し

バーコード読み取り時、バイブレータで知らせません。

データ

先頭付加(バーコード)

無し

読み取ったバーコードデータの先頭には何も付加しません。

Symbol 準拠

読み取ったバーコードデータの先頭に以下のバーコード識別文字を付加して送信します。

読み取りコード	先頭付加文字
UPC-A/UPC-E/JAN8/JAN13	A
Code39	B
NW7	C
Code128	D
Interleaved-2of5	F
Industrial-2of5	G
EAN128	K
新雑誌コード	A
ITF-6/ITF-14/ITF-16	F

AIM 準拠

読み取ったバーコードデータの先頭に以下のバーコード識別文字を付加して送信します。(2~3文字)

読み取りコード	先頭付加文字
Code39]A4
Code128]C0
EAN128]C1
UPC-A/JAN13]E0
新雑誌コード]E0,]E2
JAN8/UPC-E]E4
NW7]F0
Interleaved-2of5]I0
Industrial-2of5]S
ITF-6/ITF-14/ITF-16]I0

]E0の後に13桁、]E2の後に残り5桁となります。

終端付加

無し

読み取ったバーコードデータの最後には何も付加しません。

CR

読み取ったバーコードデータの最後にCR(0Dh)を付加して送信します。

LF

読み取ったバーコードデータの最後にLF(0Ah)を付加して送信します。

TAB

読み取ったバーコードデータの最後にTAB(09h)を付加して送信します。

ETX(STX)

読み取ったバーコードデータの先頭にSTX(02h)、最後にETX(03h)を付加して送信します。
(先頭付加文字を指定した場合には先頭付加文字の前にSTX(02h)を付加します)

(例) バーコードデータが『1234』の場合、送信データは次のようになります。

『無し』場合

ASCII: 1 2 3 4

HEX: :31h 32h 33h 34h

『CR』場合

ASCII: 1 2 3 4 <CR>

HEX: :31h 32h 33h 34h 0Dh

『LF』場合

ASCII: 1 2 3 4 <LF>

HEX: :31h 32h 33h 34h 0Ah

『TAB』場合

ASCII: 1 2 3 4 <TAB>

HEX: :31h 32h 33h 34h 09h

『ETX(STX)』場合

ASCII:<STX> 1 2 3 4 <ETX>

HEX: : 02h 31h 32h 33h 34h 03h

電源管理

自動オフ

しない

自動的に電源OFFしません。

1~99分(5分)

何も操作しない状態が設定時間経過すると自動的に相手機器との通信を切断して電源オフします。

データ項目

区切り

CR

機器 ID とバーコードデータを CR(0Dh) で区切ります。

LF

機器 ID とバーコードデータを LF(0Ah) で区切ります。

TAB

機器 ID とバーコードデータを TAB(09h) で区切ります。

カンマ

機器 ID とバーコードデータをカンマ(2Ch) で区切ります。

機器 ID 付加

しない

データに機器 ID を付加しません。

する

データに機器 ID を付加して送信します。

機器 ID とデータの間には、【区切り】で指定したキャラクタが入ります。

(例) 機器 ID 『123456』_Ⓜ

バーコードデータ 『ABCD』_Ⓜ

【データ】 - 【終端付加】 - 【CR】

【データ項目】 - 【区切り】 - 【カンマ】の場合の

送信データは次のようになります。

ASCII: 1 2 3 4 5 6 , A B C D <CR>

HEX :31h 32h 33h 34h 35h 36h 2Ch 41h 42h 43h 44h 0Dh

キー操作

起動時

バーコード読み取り

起動時、キー（短）押すと、バーコードを読み取ります。

Bluetooth 接続

起動時、キー（短）押すと、Bluetooth 接続 / 接続待ちを行います。

この設定をすると、バーコードでの設定は行えません。

この設定完了後に、設定を行う場合は、設定ツールをご使用ください。

【通信】 - 【モード】 項も併せて参照してください。

7. 状態早見表

LED の状態より DHS-112 の動作がわかります。

LED	動作
消灯	電源オフの状態です
緑点滅(早い: 100/ 200ms)	Bluetooth 接続試行中 タイムアウト マスタ: 3秒~10秒 スレーブ: 60秒
緑点滅(遅い: 100/1000ms)	Bluetooth 接続中 (データの送信ができます)
緑点灯(1秒)	バーコード読み取り成功
赤点滅(遅い: 100/1000ms)	電池残量 警告 (電池交換をおすすめします) 状態: Bluetooth 接続中 (データの送信がまだできます)
赤点滅(早い: 100/ 200ms)	電池残量 無し (電池交換をしてください) 状態: Bluetooth 切断
赤点灯(電源オフするまで)	電源オフします 又は、 Bluetooth の接続が途切れたので、電源オフします
赤点灯(1秒)	応答エラー (応答設定をした場合)
赤点灯	バーコード設定モード
緑点滅(900/1000ms)	ペアリングモード 60秒
赤緑交互点滅(500ms)	Bluetooth アドレスバーコード読み取り中(1桁ずつ)

ブザー音より状態変化がわかります。

ブザー	動作モード
ピーピーピー	電源オフします
ピー	Bluetooth の接続が途切れたので、電源オフします 又は、 応答エラー (応答設定をした場合)
ピロリ	Bluetooth 接続完了
ピーピピ	バーコード設定モードで設定完了

8. 付録

8-1. ペアリングバーコード

ペアリングバーコードは、Code39 で、以下のバーコードをご使用ください。



8-2. アドレスバーコード

アドレスバーコードは、Code39 または、Code128 で以下のように作成してください。

接続先アドレスが『0123456789AB』の場合

Code39(14桁)



Code128(12桁)



8-3. アドレスバーコード (1桁入力用)

アドレスバーコードの入力は、以下をご使用ください。

入力を間違えた場合、『BS』のバーコードを読み取ると、直前の入力をクリアします。



設定開始



0



A



1



B



2



C



3



D



4



E



5



F



6



7



8



9



BS

アドレスバーコード詳細 種類 : Code128

0	『0』(1桁)	8	『8』(1桁)
1	『1』(1桁)	9	『9』(1桁)
2	『2』(1桁)	A	『A』(1桁)
3	『3』(1桁)	B	『B』(1桁)
4	『4』(1桁)	C	『C』(1桁)
5	『5』(1桁)	D	『D』(1桁)
6	『6』(1桁)	E	『E』(1桁)
7	『7』(1桁)	F	『F』(1桁)
		BS	『BS』(1桁)

8-4. 設定データ

アプリケーションからの一括設定する場合のデータの詳細でデータ長は64byteになります。

工場出荷状態の設定の場合は、FFhを指定してください。

詳しくは、[5-3. アプリケーションからの一括設定](#)を参照してください。

位置	内容	設定値	
0	【読み取りバーコード】 - 【JAN/EAN/UPCE】	00h	読み取らない
		以外	読み取る
1	【読み取りバーコード】 - 【ITF】	00h, FFh	読み取らない
		01h	ITF-6, 14, 16 として読む
		以外	ITF として読む
2	【読み取りバーコード】 - 【NW7】	00h, FFh	読み取らない
		01h	スタートストップ無、C D
		02h	スタートストップ付、C D
		03h	スタートストップ無
		以外	スタートストップ付
3	【読み取りバーコード】 - 【Code39】	00h, FFh	読み取らない
		01h	スタートストップ無、C D
		02h	スタートストップ付、C D
		03h	スタートストップ無
		以外	スタートストップ付
4	【読み取りバーコード】 - 【Code128】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
5	【読み取りバーコード】 - 【Industrial 2of5】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
6	【読み取りバーコード】 - 【GS1-128】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
7	【読み取りバーコード】 - 【新雑誌コード】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
8-14	予約	必ず FFh	
15	【通信】 - 【モード】	00h, FFh	接続しない
		01h	マスタ
		以外	スレーブ
16	【通信】 - 【方式】	00h	B
		以外	A(通常)
17	【通信】 - 【セキュリティ】	00h, FFh	有り(PIN コード:3939)
		以外	無し
18	【通信】 - 【応答】	00h, FFh	無し
		以外	ACK
19	【通信】 - 【ホスト制御】	00h, FFh	無し
		以外	有り
20	【デバイス】 - 【2度読み防止】	00h, FFh	無し
		以外	有り
21	【デバイス】 - 【レーザ照射角】	00h, FFh	広い
		以外	狭い

位置	内容	設定値	
22	【デバイス】 - 【ブザー】	00h	無し
		以外	有り
23	【デバイス】 - 【パイプレータ】	00h	無し
		以外	有り
24	【データ】 - 【先頭付加】	00h, FFh	無し
		01h	Symbol 準拠
		02h	AIM 準拠
25	【データ】 - 【終端付加】	00h, FFh	無し
		01h	CR
		02h	TAB
		03h	ETX(STX)
		04h	LF
26	【電源管理】 - 【自動オフ時間】	00h	自動オフしない
		FFh	5分
		以外	設定時間(分)で自動オフ
27	【キー操作】 - 【起動時】	00h, FFh	バーコード読み取り
		以外	Bluetooth 接続
28	予約	必ず FFh	
29	【データ項目】 - 【区切り】	00h, FFh	CR
		01h	TAB
		02h	カンマ
		以外	LF
30	【データ項目】 - 【機器 ID 付加】	00h, FFh	しない
		以外	する
31-63	予約	必ず FFh	

8-5. 設定バーコード

設定は、設定開始は『設定開始』バーコードを読み取ってから行います。設定終了は『設定終了』バーコードの読み取りをします。

詳しくは、[5-1. バーコードを読み取って設定](#)を参照してください。

印刷の際は、印字品質を高くしてください。



【設定開始】	【設定終了】









読み取りバーコード		
JAN/EAN/UPCE	読み取る	
	読み取らない	
ITF	ITF として読む	
	ITF-6,14,16 として読む	
	読み取らない	
NW7	スタートストップ付	
	スタートストップ無	
	スタートストップ付、CD	
	スタートストップ無、CD	
	読み取らない	
Code39	スタートストップ付	
	スタートストップ無	
	スタートストップ付、CD	
	スタートストップ無、CD	
	読み取らない	
Code128	読み取る	
	読み取らない	

【設定開始】	【設定終了】

読み取りバーコード		
Industrial 2of5	読み取る	
	読み取らない	
GS1-128	読み取る	
	読み取らない	
新雑誌コード	読み取る	
	読み取らない	

通信		
モード	マスタ	
	スレーブ	
	デモ用途（接続しない）	このバーコードを読み取った場合は、 【キー操作】 - 【起動時】 - 【Bluetooth 接続】の 設定もしてください。
方式	A(通常)	
	B	
セキュリティ	無し	
	有り PINコード:3939	
応答	無し	
	ACK	
ホスト制御	無し	
	有り	

【設定開始】 	【設定終了】 
--	---

デバイス		
2度読み防止	無し	
	有り	
レーザー照射角	広い	
	狭い	
ブザー	有り	
	無し	
バイブレータ	有り	
	無し	

データ		
先頭付加	無し	
	Symbol 準拠	
	AIM 準拠	
終端付加	無し	
	CR	
	LF	
	TAB	
	ETX(STX)	

【設定開始】 	【設定終了】
------------	------------

電源管理		
自動オフ	しない	
	1分	 1分 (AUTOFF01)
	5分	 5分 (AUTOFF05)
	10分	 10分 (AUTOFF10)

バーコードを作れば1~99分の指定が可能。Code128『AUTOFFxx』xxに時間を入れて作成してください。

データ項目		
区切り設定	CR	
	LF	
	TAB	
	カンマ	
機器 ID 付加	しない	
	する	

キー操作		
起動時	バーコード読み取り	
	Bluetooth 接続	このバーコードを読み取り、設定終了すると以後は <u>バーコードによる設定は行えません。</u> この設定完了後に、設定を行う場合は、設定ツール をご使用ください。

メンテナンス	
工場出荷状態	

ブザーが『ピー』と鳴り、LEDが一瞬橙色で点灯して電源オフします。

8-6. ホスト制御

ホスト制御を有りの設定にした場合、以下のデータを送信して DHS-112 を制御することができます。

データ	内容
02h, "BCR_SCAN", 03h	バーコード読取
02h, "BUZOUT_0", 03h	ブザー 100ms オン (【デバイス】 - 【ブザー】の設定は影響しません)
02h, "BUZOUT_1", 03h	ブザー 500ms オン (【デバイス】 - 【ブザー】の設定は影響しません)
02h, "VIBOUT_0", 03h	バイブレータ 100ms オン (【デバイス】 - 【バイブレータ】の設定は影響しません)
02h, "VIBOUT_1", 03h	バイブレータ 500ms オン (【デバイス】 - 【バイブレータ】の設定は影響しません)
02h, "GET_BATT", 03h	電圧値取得 結果はバーコードデータと同じフォーマットで送ります。 (例)2.76V、【データ】 - 【終端付加】 - 【CR】の場合 "2.76", 0Dh



ホスト制御データの詳細

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
02h	B (42h)	C (43h)	R (52h)	_ (5Fh)	S (53h)	C (43h)	A (41h)	N (4Eh)	03h
02h	B (42h)	U (55h)	Z (5Ah)	0 (4Fh)	U (55h)	T (54h)	_ (5Fh)	0 (30h)	03h
02h	B (42h)	U (55h)	Z (5Ah)	0 (4Fh)	U (55h)	T (54h)	_ (5Fh)	1 (31h)	03h
02h	V (56h)	I (49h)	B (42h)	0 (4Fh)	U (55h)	T (54h)	_ (5Fh)	0 (30h)	03h
02h	V (56h)	I (49h)	B (42h)	0 (4Fh)	U (55h)	T (54h)	_ (5Fh)	1 (31h)	03h
02h	G (47h)	E (45h)	T (54h)	_ (5Fh)	B (42h)	A (41h)	T (54h)	T (54h)	03h

9. 困ったときには

困ったときには、以下の症状の項目を一度確認してみてください。

症状	データがキー入力されない。
対策案	通信は、Serial Port Profile(SPP)のBluetooth COMポートで行います。 データをキー入力するには、接続相手専用の別途ソフトウェアを準備する必要があります。
症状	キーを押し接続動作を行うと、ブザーが『ピーピーピー』と鳴り電源がオフする。
対策案	アドレスバーコードが正しいか確認してください。 一度でも接続を行っている場合、キーを離さずに押下状態を続けて再度試してください。 (キーは、レーザが出ている状態でも押下状態を続け、LEDが緑点滅をはじめたら離します)
症状	キーを押し接続動作を行うとLEDの緑点滅になり、暫くするとブザーが『ピーピーピー』となり電源がオフする。
対策案	接続相手のアプリケーションのSPPのポートをオープン状態にしているか確認してください。
症状	キーを押し接続動作を行うと、LEDの緑点滅が始まらず、赤点滅になっている。
対策案	電池残量がありません。 キーをブザーが『ピーピーピー』と鳴るまで押し続けてください。 この操作で電源がオフしますので、電池を取り外して交換してください。
症状	通信中のLEDがいつもは緑色が点滅しているのに赤色になった。
対策案	電池残量が少なくなってきました。 まだ使用はできますが、電池を交換することをおすすめします。
症状	通信中に急にLEDが早い赤点滅になった。
対策案	電池残量がありません。 キーをブザーが『ピーピーピー』と鳴るまで押し続けてください。 この操作で電源がオフしますので、電池を取り外して交換してください。
症状	接続時に接続相手にPINコードを入力する画面になる。
対策案	"3939"を入力してください。
症状	ペアリングモードにならない。
対策案	LEDが消えている状態で、キーを押下し続けます。 すると、LEDが緑点灯しますので、点灯したらキーを離してください。 緑点滅(ON:長)になるとペアリング待ち動作ですので接続相手より検索を行ってください。
症状	ペアリングモードで何とペアリングすればよいかわからない。
対策案	デバイス検索を行ったときに見つけた名称『DHS-100 xxxxxx』とペアリングしてください。 xxxxxxは機器IDです。

-  Bluetooth®はBluetooth SIG inc.の登録商標です。
-  Sparklet®は株ディジ・テックの登録商標です。
- 本資料は製品の改良や資料の内容の改善のため予告なく変更することがあります。
- この資料は2013年7月10日現在のものです。

株式会社 ディジ・テック

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 13-48

ベルパーク大津ビル3F

Phone 077-510-1212

FAX 077-510-1211

<http://www.digi-tek.com/>
